

生まれてすぐの赤ちゃんも無意識に口角をあげて笑顔のようなものを見せます。これは新生児微笑と言って、親に
かわいがられるように本能で笑顔になる、という話です。

生後2カ月になると、何かの刺激、例えばあやすと笑うようになります。これには社会的微笑という名前があり、生まれて2カ月で社会性があるとはたいしたものですよ。

とんでアメリカの大学の研究室では、誰もが廊下ですれ違う時、必ず「Hi!」と、とびきりすてきな笑顔を見せてくれます。アメリカは多民族国家ですから、あいさつから笑顔でまず自分は敵ではな

赤ちゃんと「微笑がえし」

一筆



小児科医

駒木 智

2017.5.25

ということを示すのです。

「微笑がえし」というのは約40年前、1978年に解散したキャンディーズの最後のシングル曲でした。作詞は阿木燿子さん。曲ですがこのタイトルは今でも燦然の輝きです。おそらく当時も辞書に載っている言葉ではなかったのではないのでしょうか？

「微笑がえし」は社会的微笑の一つで、こちらが笑いかけると相手が応えて笑顔になることです。やはり生後2カ月の赤ちゃんから始まっている

て、知性の最初の表出として最も良いものだと信じます。

ところで年を重ねるに連れ気難しくなっていますか？
人生の最初と最後は、大いに泣いてまた笑い、特に最後は清濁併せのみながらニコニコ生きていききたいものです。でも人生の最後はいつなのか普通分らないもの。結局いつも笑うことが優先になります。偉そうなことを言っていますが、私も家族や自院スタッフには、実はムスツとしています。笑って反省しなきゃ。